



地球暮らし

地球温暖化防止と
環境共生住宅を考える

株式会社さつまホーム企画室
地球やりなおし計画
事務局

ゴールデンウィーク！・・・なのにガソリン再値上げ！

みなさんこんにちは、さつまホームの瀧川です。皆さん、ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？ガソリン暫定税率を復活させる法案が4月末に駆け込み再可決されたために、GWの最中にガソリンの再値上げ……。ダメージを被った方も多いのでは。でも、こんな事を書いたら怒られるかも知れませんが、『地球暮らし』的には「オッケー」。ただし、その税金をちゃんと有効に使ってくれるのなら、ですけど。今月は、昨今のガソリン絡みの騒動をもう少し大きな視点で考えたいと思います。



クルマ社会の未来を考える～石油枯渇問題、クルマ社会、道路特定財源～

ついに枯渇し始めた？石油資源

ガソリンの原料である石油は有限の資源です。世界各地の既存油田で生産ペースの低下が次々に報告されていて、ある予測では、「石油の自噴は20年後には止まり、40年後には枯渇する」とも言われています。原油価格が99年ごろから上昇を続けているのは、産油国の焦りや危機感の表れという見方もあります。原油の自噴が止まれば、採掘コストは一気に跳ね上がります。また、先細り感からも産油国は価格を上げようとするでしょう。

石油の枯渇については「有限だがまだまだ枯渇しない」とする楽観論もあります。確かに、石油ショックのころに言われた「あと30年」はもう過ぎているのに、利用可能な埋蔵量は却って増加しています。これにはいくつかの理由があります。ひとつは新しい油田やガス田が発見されていて、今後もその可能性があること。二つ目は油田からの回収効率が向上したことです(最近10年で約20%アップ)。これは埋蔵量が20%増えたのと同じ効果を生みます。更には、埋蔵量の予測には、産油国や石油メジャーなどの恣意的・政治的な操作がかなり入っていることが原因と言われています。



トピック

世界の石油、枯渇まであと68年

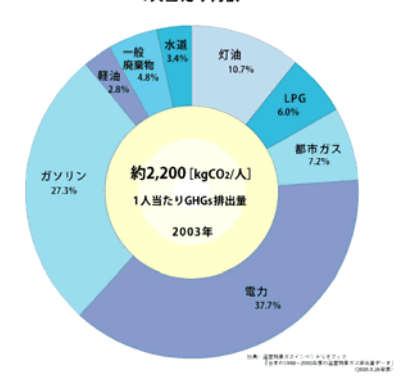
石油鉱業連盟発表。平成17年末の世界の石油・天然ガス資源に関する評価。同連盟は5年前の79年から見通しを11年短縮。未発見資源量縮小に加え、中国やインド等の石油需要急増により今後更に縮まる可能性も指摘。

東南アジアの穀物生産半減

アジア開発銀行(ADB)試算。東南アジアの穀物生産は2050年までに半減し水不足に苦しむ人は約12億人に増加。温暖化による海面上昇で各地で洪水被害が頻発し、バングラデシュ沿岸部等では“気候変動難民”が生まれると予測。



家庭からの温室効果ガス排出量の割合 (2003年)
-1人当たり内訳-



次世代の「クルマ社会」を考える

今私たちが買っている石油のほとんどは「勝手に沸いて来る」低コスト石油ですが、今後産油コストに連動して当然ガソリン価格も高騰していくことは十分予想できます。娯楽でクルマに乗るなんて、古き良き時代のお話になるのかも知れません。ひとつ確実に言えることは、ガソリン車の時代はもうすぐ終わるということ。世界中の自動車メーカーが、脱ガソリンの自動車開発にしのぎを削るのも、そうでなければ生き残れないことがはっきりしているからです。

情報リンク

それゆけ！石油探検隊

<http://www.sekiyuexpedition.com/>
石油に関する詳しい情報が読めるサイト

低公害車(エコカー)の広場

http://www.erca.go.jp/taiki/now_car/
独立行政法人環境再生保全機構のサイト

お知らせ バックナンバーをプレゼント

多数のお申込みありがとうございます。引き続き『地球暮らし』全バックナンバープレゼント実施中です。右記のEメールかFAXまでお申込み下さい。



日本を凌ぐクルマ社会のドイツでも、すでに道路より鉄道などの公共交通機関へ公共投資をシフトしています。「どの道路を作るか」ではなく「道路を作るかどうか」、さらにもう一步踏み込んで、「どのようなクルマ社会を目指すのか」を皆で考える時期にきています。

道路特定財源の正しい使い方は

マッサージ機やら家賃補助やらは論外でも、道路以外に使うこと自体が悪いとは思いません。町村官房長官がいつかおっしゃってたように、道路特定財源は環境対策費に使っていただきたいものです。受益者負担というより加害者負担ですが、結果は同じことです。特に公共交通機関や歩道・自転車道や駐輪場の整備に充てて、「自動車以外の手段で移動しやすい社会基盤を作る」という方向ならば、当初の課税目的からも大きくは外れないし、誰からも納得してもらえるのではないのでしょうか？そのためには地方への財源移譲などの課題もあるのですが、国の掛け声のもと、クルマ偏重の都市計画を進めて来た地方自治体が、その是正するために必要ならば、道路特定財源を使う意義と妥当性はあると思います。

編集後記 自分の周りだけOKでも・・・

GWも半分は仕事してました(T_T)。確かに街中はクルマが少なく、祝日が4日も続くと(今日は5/6)空気の汚れ方がいつもよりマシなのを、自転車通勤の私は肌で感じる事ができます。でも、そのクルマたちはきっと今頃、行楽地や高速道路で大行列してるのかな・・・

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com
FAX : 06-6855-7700
郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-12-11
株式会社さつまホーム企画室

さつまホームは地球温暖化防止に取り組んでいます

